



営農情報

第 1 号
平成26年 3月15日
(毎月1日、15日発行)
名取岩沼農業協同組合
営農部営農企画課
TEL 022-384-2392

平成26年産の米づくりが始まります。 計画を立てて作業に取り組みましょう!!

稲作講座開催のお知らせ

育苗準備の前に、稲作講座を開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 1) 開催日時 平成26年3月20日(木) 午前10時00分～11時30分
- 2) 開催場所 美田園支店 研修センター
- 3) 講座内容
 1. 「良品質米生産に向けた育苗と技術対策について」
講師：亘理農業改良普及センター
 2. 「環境保全米」の取組みについて
講師：JA名取岩沼 営農部営農企画課



※環境保全米を栽培する生産者は是非参加下さい。

<育苗の準備は計画を立て、間違えのないように確認を行いましょう。>

- ① 作付面積に換算した種子量、培土が確保されていますか？(10当り約4kg)
- ② 作付計画にあった品種の種子量が確保されていますか？(複数栽培される方は必ず確認)
- ③ 種もみの浸種は播種日を決めて行いましょう。(短期間の浸種は発芽不揃いになります。)
- ④ 田植予定日を逆算し播種日を決めましょう。(稚苗23～25日・中苗30～35日程度)
- ⑤ ハウスの点検・整地
- ⑥ 育苗用資材の確認(使用薬剤の確認・育苗用マットの確認等)

◎塩水選の実施

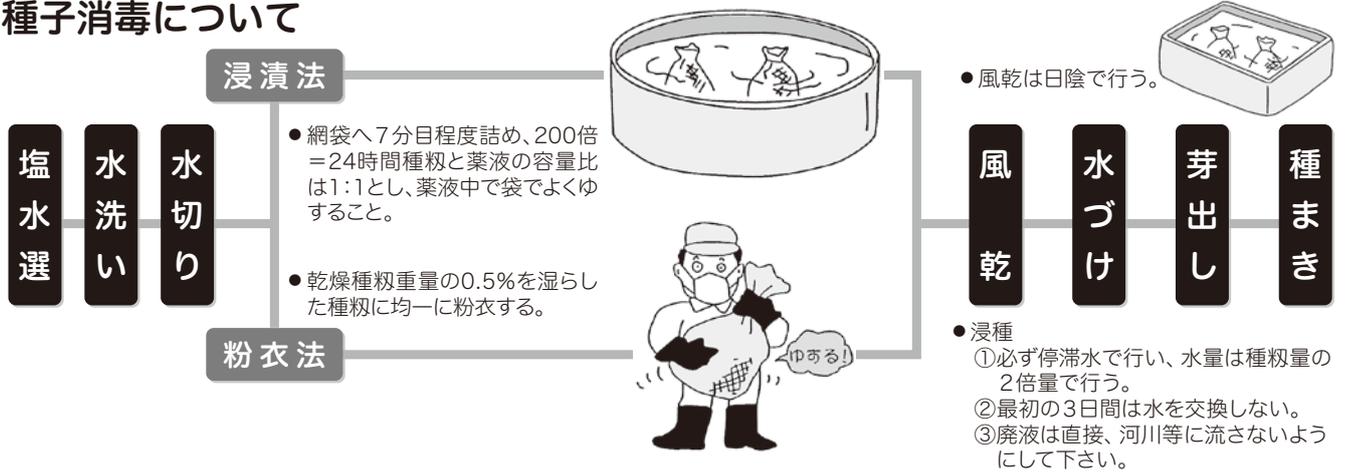
塩水選は発芽揃いを良くし、病害の発生被害を予防するため実施するようにしましょう。
うるち・もちの適正な比重を保ち作業を行って下さい。

	比 重	水10ℓ当り必要量	
		食 塩	硫 安
うるち種	1.13	2.1 kg	2.7 kg
もち種	1.08	1.2 kg	1.5 kg

※ 塩水選後は塩分等を取り除くため水洗いを行って下さい。

※ 複数品種の作業を行う場合は品種毎に行い、確認しながら間違いのないように行って下さい。

◎種子消毒について



- ひとめぼれ・まなむすめの目安として水温が10℃で12日間、15℃で8日間程度であるが**10℃くらいのやや低い温度でゆっくり浸種した方が催芽・出芽の揃いは良い。**
- 水の交換は1～2日ごとに行なう。籾袋の上下交換を行い、吸水の均一化を図る。

◎種子消毒薬剤

農薬名	希釈倍数	使用方法	使用時期	使用回数	適用病害名
モミガードC水和剤	200倍	24時間種子浸漬	浸種前	1回	<ul style="list-style-type: none"> ●ばか苗病 ●ごま葉枯病 ●いもち病 ●もみ枯れ細菌病 ●褐変病 ●苗立枯細菌病 ●苗立枯病
テクリードCフロアブル					

(モミガードC水和剤1袋100g・テクリードCフロアブル1本100ccの200倍液の作り方)

薬量	100g又は100cc	200g又は200cc	300g又は300cc	400g又は400cc	500g又は500cc
水量	20ℓ	40ℓ	60ℓ	80ℓ	100ℓ
種子量	20kg	40kg	60kg	80kg	100kg

◎温湯消毒

播種日に合わせ、そのまま浸種(水づけ)を行って下さい。

◆浸種日数の目安◆ (平均気温10℃程度の水温の場合)

品 種	日 数	積算温度
ひとめぼれ・まなむすめ・つや姫	12日～14日	120℃
ササニシキ、その他	10日～12日	100℃

◎催芽

催芽程度はハトムネ程度とし、芽を伸ばしすぎない。→1mm程度
苗立枯細菌病予防のため、30℃を超えないように注意する。

◎播種

低温等による障害や育苗日数の長期化による老化苗等の問題が生じるため、必要以上に早播きにしない。

育苗方法	育苗日数(日)	播種量(g/箱)	
		乾籾	催芽籾
加温出芽稚苗	20～25	150g	180g
無加温出芽稚苗	20～30	150g	180g
中 苗	30～35	100g	125g

◎育苗期間中の管理

育苗様式別目標値

項 目	稚 苗	中 苗
草 丈 (cm)	10～15cm	13～18cm
第1葉鞘高 (cm)	3～4cm	2～3cm
葉 数 (葉)	2.1～2.5葉	3.5～4.0葉
乾物重 (g/100本)	1.2以上	2.1以上

- 「営農計画書」や「地域とも補償参画同意書」について、未提出の方は早急に提出して下さい。